

所属名	事務事業名	ページ番号
商業振興課	労政情報発信事業	2
商業振興課	中小企業勤労者福祉サービスセンター支援事業	3
商業振興課	勤労者福利厚生対策事業	4
商業振興課	労働金庫預託事業	5
商業振興課	働く人にやさしい企業応援利子助成事業	6
商業振興課	中小企業人材確保支援事業	7
商業振興課	各種商業団体等支援事業	8
商業振興課	商工会議所支援事業	9
商業振興課	商工会支援事業	10
商業振興課	地区商店街支援事業	11
商業振興課	商業者育成事業	12
商業振興課	体験型起業家育成教育推進事業	13
商業振興課	地域人材・しごとマッチング支援事業	14
商業振興課	小規模事業者伴走型支援強化事業	15
商業振興課	事業承継支援事業	16
商業振興課	商業者情報化対応支援事業	17
商業振興課	「地域ブランド商品」振興事業	18
商業振興課	佐賀錦振興事業	19
商業振興課	地場産品交流会館管理事業	20
商業振興課	売茶翁情報発信事業	21
商業振興課	チャレンジショップ支援事業	22
商業振興課	えびすを活かした中心市街地賑わい創出事業	23
商業振興課	銀天夜市開催支援事業	24
商業振興課	バルーンフェスタ・サテライト事業	25
商業振興課	佐賀城下ひなまつり関連商店街活性化事業	26
商業振興課	タウンマネジメント事業推進支援事業	27
商業振興課	戦略的商機能等集積支援事業	28
商業振興課	中心市街地活性化まち・ひと・しごと創生事業	29
商業振興課	街なか産学官連携支援事業	30
商業振興課	流通促進事業	31
商業振興課	物産販売協力店拡大事業	32
商業振興課	ふるさと名物応援強化事業	33
商業振興課	バスセンター管理事業	34
商業振興課	プレミアム付商品券発行事業	35
商業振興課	新たなまちづくりチャレンジ支援事業	36
商業振興課	プレミアム付商品券発行支援事業	37
商業振興課	地場産品マッチングサイト構築支援事業	38
商業振興課	中小企業振興資金貸付事業	39
商業振興課	商工中金預託事業	40
商業振興課	同和金融対策事業	41
商業振興課	ライトファンタジー事業	42
商業振興課	まちづくり支援事業	43
商業振興課	中心市街地通行量調査経費	44
商業振興課	街なか来訪者等動向調査経費	45
商業振興課	関係人口創出チャレンジ事業	46
商業振興課	未来技術を活用した街なかブランディング事業	47
商業振興課	旧TOJIN茶屋解体事業	48
商業振興課	街なか交流広場管理事業	49
商業振興課	街なか再生計画推進事業	50
商業振興課	中央大通り再生計画推進事業	51
商業振興課	街なかふれあいプラザ管理運営事業	52
商業振興課	文化交流プラザ管理運営事業	53
商業振興課	佐賀商工ビル転貸フロア等管理運営事業	54
商業振興課	事業継続支援事業	55

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	労政情報発信事業	事業期間	平成 13 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	各種情報の周知、事業主や勤労者の利便を図るため、事業主等に労働局などの関係機関から収集した労働情報を、労政だより送付（年2回）等の方法により積極的に提供する。専門家による夜間労働相談（社会保険労務士）を工業振興課が実施している夜間経営相談（中小企業診断士）とともに月2回行う。				
事業の対象者	事業主、労務担当者、勤労者				
R2年度 主な活動実績	各種情報の周知、事業主や勤労者の利便を図った。 ・「労政だより」を2回（9月・1月）作成・送付（延べ配布件数7,840件） ・市報に労働に関する記事を掲載（各種情報の記事25件） ・県社会保険労務士会に委託し、労働相談を実施 夜間労働相談（第2・4水曜日）24回、面談での相談件数9件、メールでの相談件数4件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,146				
うち佐賀市の負担額	1,146				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
夜間労働相談利用件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
13	13	13	13	13		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、市報・HP等を利用し広報活動を行い、各種情報の周知、事業主や勤労者の利便を図る。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中小企業勤労者福祉サービスセンター支援事業	事業期間	平成 9 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中小企業の福利厚生について、地域の中小企業勤労者と事業主が共同し、総合的な福祉事業を行う中小企業勤労者福祉サービスセンターの運営費の一部を負担する。福利厚生の充実により事業所における人材の確保や定着化、企業活力の維持・向上を図ることで地域経済の活性化に資する。				
事業の対象者	中小企業で働く中小企業勤労者福祉サービスセンターの会員及びその家族				
R2年度 主な活動実績	総合的な福祉事業を行う中小企業勤労者福祉サービスセンターの運営費の一部を負担した。 ・中小企業勤労者福祉サービスセンターの運営費を一部負担（1,160千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,160				
うち佐賀市の負担額	1,160				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
共済給付・サービスの利用件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4,513	4,513	4,513	4,513	4,513		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、市報・労政だより等による広報を行い、福利厚生の充実により事業所における人材の確保や定着化、企業活力の維持・向上を図っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	勤労者福利厚生対策事業	事業期間	平成 7 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	勤労者の福利厚生の推進を目的に活動を行う、佐賀県労働者福祉協議会及び佐賀地区労働者福祉協議会へ負担金及び補助金を支出する。勤労者の福祉活動を推進し、福祉事業に関する事項全般についての啓発、普及、実践等により、勤労者の福祉の増進と社会保障制度の確立を図る。				
事業の対象者	佐賀地区の勤労者				
R2年度 主な活動実績	勤労者の福利厚生の推進を目的に活動を行う、佐賀県労働者福祉協議会及び佐賀地区労働者福祉協議会へ負担金及び補助金を交付した。 ・佐賀地区労働者福祉協議会に補助金交付（550千円） ・佐賀県労働者福祉協議会に負担金支出（250千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	800				
うち佐賀市の負担額	800				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
行事参加延べ人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
290	290	290	290	290		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、市報・HP等を利用し広報活動を行い、勤労者の福祉の増進と社会保障制度の確立を図っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	労働金庫預託事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	一定所得以下の勤労者の生活の安定を図るため、九州労働金庫が行う生活資金及び福利厚生資金の貸付原資として、九州労働金庫へ預託を行う。労働金庫の融資制度の運用資金の一部を預託することにより、原資調達負担を軽減し、利用しやすい制度とすることで、市内に居住する勤労者の生活の安定に資する。				
事業の対象者	勤労者				
R2年度 主な活動実績	一定所得以下の勤労者の生活の安定を図るため、九州労働金庫へ預託を行った。 ・九州労働金庫佐賀支店に預託（56,500千円） ・令和2年度貸付状況 402件（2,597,467千円）、年度末残高 3,285件（32,932,415千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	56,500				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市勤労者生活資金・福利厚生資金貸付件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
402	405	407	410	413		

成果指標②						単位
佐賀市勤労者生活資金・福利厚生資金貸付金額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,597,467	3,790,000	3,790,000	3,790,000	3,790,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
九州労働金庫佐賀支店と連絡を密にとり、目標達成に向けた情報共有を行う

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	働く人にやさしい企業応援利子助成事業	事業期間	平成 23 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	仕事と家庭の両立がしやすい労働環境づくりや、障がい者雇用に積極的に取り組んでいる中小企業者が、小口資金の融資を新規で借り入れた場合に、支払利子の一部を助成する。仕事と子育てを両立しやすい雇用環境への理解啓発と環境整備の促進、障がい者雇用に促進させる。				
事業の対象者	市内で6ヶ月以上継続して同一の事業を営み、市税を完納している中小企業者、勤労者				
R2年度 主な活動実績	目的達成のため、支払利子の一部を助成した。 ・助成企業数2件、167千円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	年度	年度	年度	年度
事業総額	167				
うち佐賀市の負担額	167				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
県内一般事業主行動計画策定事業所数					件
R2 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	
655					
成果指標②					単位
県内障がい者法定雇用率達成企業数					件
R2 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	
417					

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
利用実績が低調だったのでR2年度に働く人にやさしい企業応援利子助成事業を終了し、同年度から中小企業者の円滑な人材確保を図る新規事業として中小企業人材確保支援事業を実施した。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中小企業人材確保支援事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中小企業者の円滑な人材確保を図るため、採用情報の充実を含むホームページの作成、企業紹介動画の作成、合同企業説明会への出展等に係る経費の一部を助成する。				
事業の対象者	市内中小企業者				
R2年度 主な活動実績	合同企業説明会への出展等に係る経費の一部を助成した。 ・補助実績 9件 ・中小企業者における採用実績 3人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,300				
うち佐賀市の負担額	2,300				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
中小企業者における採用実績						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	3	3	3	3		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、市報・HP等を利用し広報活動を行い、中小企業者の円滑な人材確保に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	各種商業団体等支援事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係 流通促進係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	さが県産品流通デザイン公社、佐賀県農林水産物等輸出促進協議会、佐賀県商店街振興組合連合会、佐賀県たばこ協同組合佐賀支部が実施する研修会や支援事業等の運営費の一部を助成した。商工業者が各種商業団体の事業等に参画し、各業界の販売活動が活性化される。				
事業の対象者	市内の中小企業者				
R2年度 主な活動実績	各団体が実施する研修会や支援事業等の運営費の一部を助成した。 ・4団体合計2,030千円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,030				
うち佐賀市の 負担額	2,030				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
各種商業団体の構成員数						者
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
335	332	329	326	323		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
各団体と連絡を密にとり、目標達成に向けた情報共有を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	商工会議所支援事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内中小企業の育成発展を図るため、佐賀商工会議所が行う、経営、情報化、金融、税務、労働等についての窓口相談、巡回指導の実施、各種講習会、研修会の開催等の中小企業に対する相談事業等に対し補助金を支出する。中小企業者の経営改善発達を促進し、業績の向上と経営の安定を図る。				
事業の対象者	市内の中小企業の事業主等				
R2年度 主な活動実績	佐賀商工会議所が行う、相談事業等に対し補助金を交付した。 ・補助金2,950千円支出				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,950				
うち佐賀市の負担額	2,950				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
商工会議所会員数					者
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
2,498	2,512	2,524	2,536	2,548	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き商工会議所との連絡を密に取り、目標達成に向けた情報共有を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	商工会支援事業	事業期間	昭和 40 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	02活力ある商工業の振興		
	基本事業	既存商工業の経営支援		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内中小企業の育成発展を図るため、佐賀市北商工会及び佐賀市南商工会が行う、経営、情報化、金融、税務、労働、取引、環境対策、記帳指導等についての窓口相談、巡回指導の実施、各種講演会、研修会の開催等の経営改善普及事業及び商工業振興、観光振興、労働保険研修等の地域総合振興事業に対し補助金を支出する。中小企業者の経営改善発達を促進し、業績の向上と経営の安定を図る。				
事業の対象者	南商工会及び北商工会地区の中小企業の事業主等				
R2年度 主な活動実績	佐賀市北商工会及び佐賀市南商工会が行う、経営改善普及事業と地域総合振興事業に対し補助金を交付した。 (45,000千円補助金支出)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	45,000				
うち佐賀市の負担額	45,000				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
商工会会員数						者
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,066	1,060	1,054	1,048	1,042		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
商工会との連絡を密に取り、目標達成に向けた情報共有を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地区商店街支援事業	事業期間	昭和 44 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内の地区商店街等が、地域の活性化や商業の振興を図るために自主的かつ意欲的に実施する商業振興事業に要する経費の一部について支援を行う。				
事業の対象者	市内の地区商店街等				
R2年度 主な活動実績	大財商工振興会、県庁通り商店連盟、中央本町商業振興会が実施した商業振興事業に対し、その経費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	406				
うち佐賀市の負担額	406				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
支援を実施した地区商店街数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	3	3	3	3		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
地区商店街は、地域の高齢者等にとって必要な存在であるが、会員の高齢化や減少、後継者不足により組織活動が休止する懸念があるため、状況を把握し、支援に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	事業者育成事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内商業者を対象に個店を訪問したうえで個別の指導を行い、消費者から選ばれる商業者の育成を図る。実践的な商売の知恵、経営ノウハウを習得し、かつ「考える経営者」としての意識をもち、経営能力が向上する。さらに参加者同士での交流を通じ、域内の商業者が活性化することを目的とする。				
事業の対象者	市内の中小小売業等経営者、後継者及び従業員				
R2年度 主な活動実績	消費者から選ばれる商業者の育成を図った。 委託先：佐賀市北商工会 内容：グーペを活用したHP作成 受講店舗数：10店				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,029				
うち佐賀市の負担額	1,029				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
役に立ったと感じた受講者の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	80	80	80	80		

年度	目標	実績
R2	80	100
R3	80	80
R4	80	80
R5	80	80
R6	80	80

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
成果指標（役に立ったと感じた受講者の割合）について、R2年度の実績は100%となっている。今後も80%以上の高い数値を維持できるように、商工会議所・商工会と情報を密にとり、目標達成に向けた情報交換を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	体験型起業家育成教育推進事業	事業期間	平成 14 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	小学生を対象とした一連の商売活動を実際に体験させるキッズマート及び仕事の魅力、やりがい等を実際の職業人に聞く職業人インタビュー並びに中学生を対象としたビジネスマナー講座、キャリア講話等を通じて、起業家精神の醸成を図る。				
事業の対象者	市内の小学校高学年の児童、市内中学校の生徒				
R2年度 主な活動実績	○体験を行った学校数 ・キッズマート 小学校5校（360名） ・職業人インタビュー 中学校2校（216名） ・ビジネスマナー講座、キャリア講話等 中学校5校（684名）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,000				
うち佐賀市の負担額	2,000				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
商売のしくみがわかったと答えた児童の割合（小学生）					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
97.9	98.0	98.0	98.0	98.0	

成果指標②					単位
					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
小学生向け、中学生向けともに児童生徒の発達段階に応じたプログラムを実施することで次世代の起業家育成を図るとともに、子どもたちの地域への理解を深め、地域の活性化につなげるため、学校・企業・地域との連携を図りながら事業を実施する必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域人材・しごとマッチング支援事業	事業期間	平成 27 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内のクリエイティブ産業における持続的で付加価値の高い新規事業の創出や域外需要の獲得を目的として、市内で活動するクリエイティブ人材と大都市圏のクライアント企業等とのビジネスマッチングを行うため、クリエイティブ人材の集積、セミナーを通じた技術向上、クライアント企業等の発掘を行う。				
事業の対象者	市内事業者（クリエイティブ人材）				
R2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティブ人材の集積（クリエイティブ人材の登録者数：68人） ・クリエイティブ人材の技術向上を目的としたセミナーの開催（開催回数：3回、参加者数：72人） ・クライアント企業等の発掘（ビジネスマッチング件数：2件） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	年度	年度	年度	年度
事業総額	7,805				
うち佐賀市の負担額	3,903				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
商談成立件数					件
R2 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	
2					
成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
クリエイティブ人材の集積や人材育成のためのセミナー開催においては、一定の成果が得られているが、ビジネスマッチング（商談成立）には結びついていない。佐賀のクリエイティブ人材が効果的に都市圏の仕事を受注できるよう、新たな体制構築や手法を検討する必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	小規模事業者伴走型支援強化事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	国の認定を受けた「経営発達支援計画」に基づき商工会及び商工会議所が行う、調査分析、販路開拓等の小規模事業者に対する伴走型支援に係る経費の一部を助成し、小規模事業者の事業の持続的な発展を図る。				
事業の対象者	市内小規模事業者				
R2年度 主な活動実績	商工会及び商工会議所が行う事業に対し補助金を交付した。 ・佐賀商工会議所 483千円 ・佐賀市北商工会 2,000千円 ・佐賀市南商工会 387千円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,870				
うち佐賀市の負担額	2,870				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
商工会議所・商工会会員数					者
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
3,564	3,572	3,578	3,584	3,590	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する

成果目標達成に向けた対応策等
商工会議所・商工会と情報を密にとり、目標達成に向けた情報交換を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	事業承継支援事業	事業期間	平成 30 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中小企業の円滑な事業承継を図るため、事業者への早期取組の啓発や、事業承継に係る経費の補助等を行う。				
事業の対象者	市内中小企業者				
R2年度 主な活動実績	中小企業の円滑な事業承継を図るため、事業者への早期取組の啓発や、事業承継に係る経費に対し補助を行った。 ・市報さが事業承継特別号の市内全戸配布等による広報 ・事業承継に係る専門家委託経費の一部補助 2件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,956				
うち佐賀市の負担額	2,956				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀県事業承継・引継ぎ支援センター成約件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
24	26	29	31	35		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
今後も積極的な広報によって早期取組を啓発するとともに、事業承継ネットワークとの連携をしっかりと行い、事業承継に係る経費を補助するなどの取組によって円滑な事業承継の促進に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	事業者情報化対応支援事業	事業期間	令和 元 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	事業者に対し、セミナーの開催やキャッシュレス決済端末等の導入補助、情報化対応支援員による伴走型の支援を行うことによって、ITを活用した情報化（キャッシュレス決済、店舗情報のインターネット掲載等）を普及促進し、地域経済の活性化を図る。				
事業の対象者	市内事業者等				
R2年度 主な活動実績	ITを活用した情報化を普及促進し、地域経済の活性化を図った。 ・キャッシュレス決済普及セミナーの開催（3回、91人参加） ・店舗情報のインターネット掲載に関するセミナーの開催（4回、71人参加） ・キャッシュレス決済端末等の導入費用に対する補助（補助金交付店舗数等：30店舗、タクシー20台） ・情報化対応支援員による伴走型支援（事業者訪問件数：217件）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	年度	年度	年度	年度
事業総額	10,537				
うち佐賀市の負担額	5,819				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
新規インターネット掲載店舗数					件
R2 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	
76					
成果指標②					単位
キャッシュレス決済新規導入店舗数					件
R2 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	
43					

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
県や商工団体等と連携して市内事業者の情報化対応の普及促進を図ったことにより一定の成果が見られる。一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に係る新しい生活様式への対応の必要等から、事業終了後においても引き続き情報化対応に係る普及活動に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

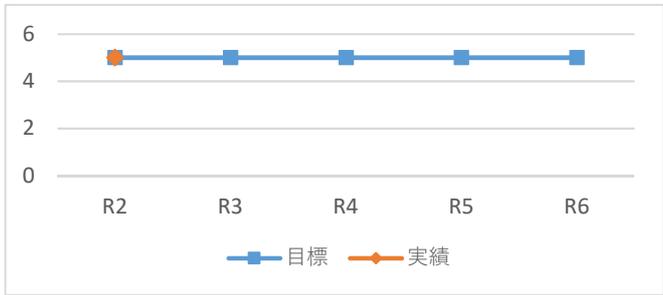
事務事業名	「地域ブランド商品」振興事業	事業期間	平成 16 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 流通促進係	担当課長名	樺木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	02活力ある商工業の振興		
	基本事業	地域ブランドの強化		

1 事務事業の基本情報

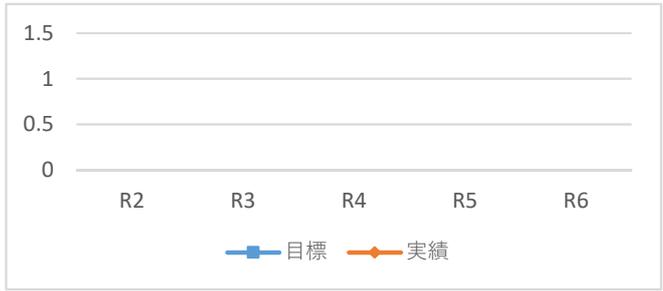
事業概要・目的	市内地場産品の商品力及び販売力向上のために、流通関係者との商談やアドバイスを受ける機会を創出するとともに、地域産業資源を活用した地場産品の新たな商品開発や販路拡大に対する取組に要する経費の一部を助成し、地場産品の振興を図る。				
事業の対象者	市内事業者				
R2年度 主な活動実績	市内地場産品の商品力及び販売力向上のため商談会を開催し、流通関係者との商談やアドバイスを受ける機会を創出した。また、新たな商品開発や販路拡大に対する取組に要する経費の一部に補助を行った。 ・佐賀ものづくりWEB商談会の開催（11/10、参加事業者数24事業者、参加バイヤー数29人） ・リーフレット製作、新商品開発等に要する経費の補助（補助実績4件）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	835				
うち佐賀市の負担額	835				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
商談成立件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5	5	5	5	5		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
市場ニーズの動向と地場産品の特長や課題を踏まえ、流通関係者との効果的なマッチングの機会を創出する。また、流通関係者からの評価を市内事業者にフィードバックし、新商品開発等にかかる費用の一部を助成することで、地場産品の価値向上を図る。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

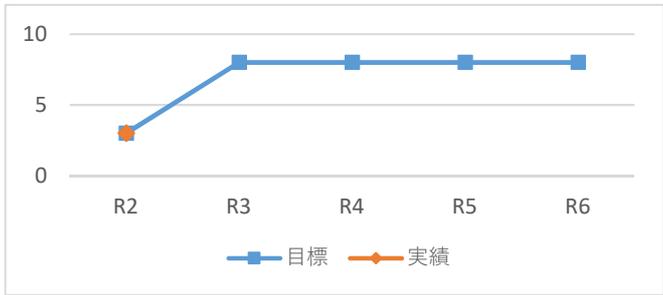
事務事業名	佐賀錦振興事業	事業期間	平成 10 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 流通促進係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	地域ブランドの強化	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀県指定伝統的地場産品である佐賀錦の手織り技術の伝承及びブランドとしての知名度向上のため、佐賀錦の手織りの実演や体験指導を行うとともに、都市圏での催事への出店を促すことにより、新たな販路開拓と県外への情報発信を図る。				
事業の対象者	佐賀錦振興協議会、市民				
R2年度 主な活動実績	佐賀錦の手織り技術の伝承及びブランドとしての知名度向上並びに新たな販路開拓と県外への情報発信を図った。 ・佐賀市歴史民俗館内における佐賀錦手織りの実演と体験指導の実施 (製作実演見学者数 1, 506人) ・催事出店、リーフレット製作等に要する経費の補助				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,441				
うち佐賀市の負担額	2,441				

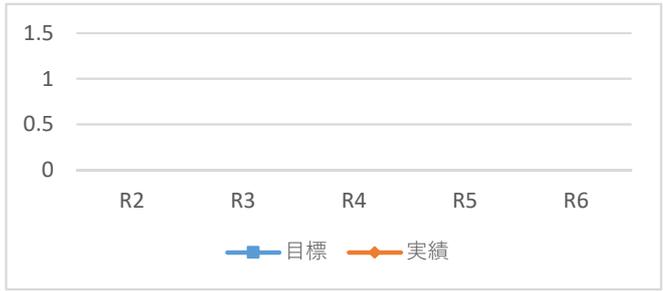
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
後継者育成数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	8	8	8	8		



年度	目標	実績
R2		3
R3	8	8
R4	8	8
R5	8	8
R6	8	8

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	目標	実績
R2		0
R3		0
R4		0
R5		0
R6		0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
催事出店や商品開発等の支援及び各種広報媒体を活用した知名度向上に取り組むとともに、引き続き手織りの実演と体験指導を実施することで新規後継者を確保する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

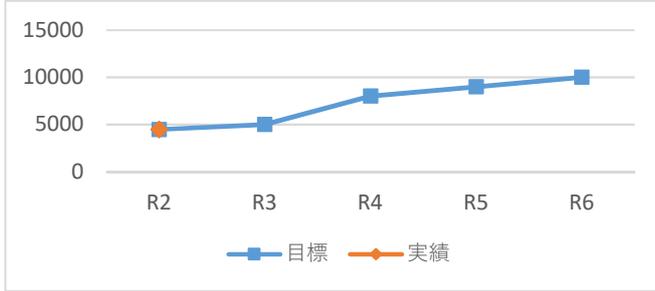
事務事業名	地場産品交流会館管理事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	地域ブランドの強化	

1 事務事業の基本情報

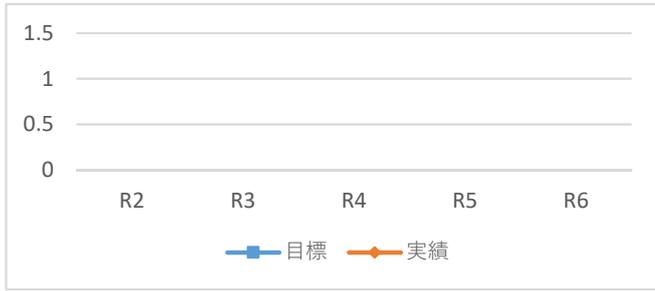
事業概要・目的	人々に憩いと交流の場を提供するとともに、地場産品の販売及び普及を促進し、地場産業の振興を図る。				
事業の対象者	一般市民、観光客				
R2年度 主な活動実績	施設の適正な管理を行うとともに、地場産品の販売及び普及を促進し、地場産業の振興を図った。 ・会館日数 286日 ・利用者数 4,474人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,058				
うち佐賀市の負担額	4,949				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
地場産品交流会館来館者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
4,474	5,000	8,000	9,000	10,000	



成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
イベント開催等により、施設の認知度は確実に向上している。周辺施設との連携を図り、市民や観光客の周遊を促進することで、地場産品の情報発信効果を高めていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	売茶翁情報発信事業	事業期間	平成 26 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	O2活力ある商工業の振興		
	基本事業	地域ブランドの強化		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	本市出身で煎茶の祖とされる高遊外売茶翁の情報を発信し、併せてイベントを開催することにより、市民及び観光客への浸透と来街促進を図る。				
事業の対象者	一般市民、観光客				
R2年度 主な活動実績	高遊外売茶翁の情報を発信し、併せてイベントを開催することにより、市民及び観光客への浸透と来街促進を図った。 ・イベント回数 5回 ・イベント参加者数 880人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,000				
うち佐賀市の負担額	2,000				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
880	900	950	1,000	1,050		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
売茶翁についての情報発信を行うとともに、売茶翁と佐賀の茶文化や菓子文化、歴史民俗館、長崎街道などそれぞれの素材を一つのストーリーとしてPRすることで、観光客の誘致、街歩き等の相乗効果が期待できる。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

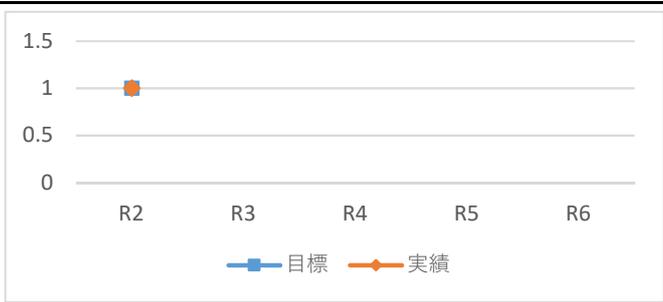
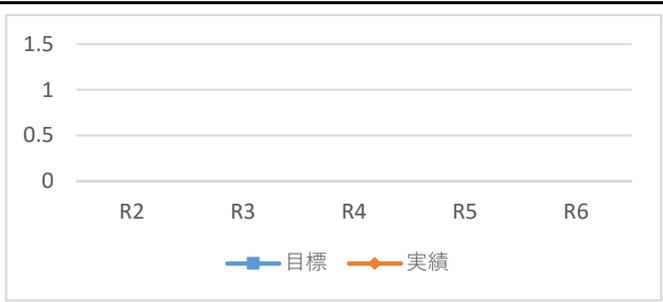
事務事業名	チャレンジショップ支援事業	事業期間	平成 12 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	魅力ある店舗・施設の整備と立地促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内において開業意欲のある出店希望者にチャレンジショップ「C A S T」を貸し出し、経営ノウハウを習得させることにより起業家の育成を図る。				
事業の対象者	市内において独立開業を希望する者				
R2年度 主な活動実績	チャレンジショップを運営するNPO法人まちづくり機構ユマニテさがに対し、運営費を助成した。 (C A S T入居者数：1人、独立開業者数：1人)				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	年度	年度	年度	年度
事業総額	3,900				
うち佐賀市の負担額	3,900				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
独立開業者数					人
R2 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	
1					
成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
本事業は、令和2年度までに34人の独立開業者を輩出し、中心市街地活性化の担い手となる事業者の育成に寄与した。一方、C A S Tが中央大通りに面し好立地にあるため、独立開業後の出店場所と格差があること、また、C A S Tの設備が中心市街地で出店ニーズの高い飲食業に対応できないこと等から、出店場所を1施設に固定しない起業家育成の方策に切り替えを行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	えびすを活かした中心市街地賑わい創出事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内に830体以上あり、その数日本一と言われている恵比須像を活かした街づくりを行うために、開運さが恵比須ステーションの運営、恵比須巡りツアー、恵比須講座等の実施に要する経費の一部を補助する。				
事業の対象者	市民、中心市街地内の事業者及び事業者、恵比須DEまちづくりネットワークが実施するまちづくり活動団体				
R2年度 主な活動実績	開運さが恵比須ステーションの適切な運営を行うとともに、恵比須巡りツアー、恵比須講座等の実施に要する経費の一部を補助した。 ・恵比須ステーション開館日数 260日 ・恵比須ステーション来館者数 2,295人 ・恵比須巡りツアー実施回数、参加者数 15回、168人 ・恵比須講座実施回数、参加者数 14回、238人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,000				
うち佐賀市の負担額	9,000				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
恵比須ステーション来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,295	2,300	3,000	3,500	4,000		

成果指標②						単位
恵比須巡りツアー・恵比須講座への参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
406	550	700	850	1,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
平成25年に設置した開運さが恵比須ステーションを拠点として、八十八ヶ所巡りや恵比須ツアーを軸に、恵比須を活用した他団体との連携等により、引き続き中心市街地への来街者の増加に繋げていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	銀天夜市開催支援事業	事業期間	昭和 42 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地及び地域経済の活性化を図るために銀天夜市実行委員会が主催する夏の風物詩『銀天夜市』に対し、必要な経費の一部を補助する。				
事業の対象者	中心市街地内の商業者及び事業者並びに市民				
R2年度 主な活動実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、銀天夜市が中止となったため、事業執行なし。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	1,000	4,000	5,000	6,000		

Legend: 目標 (blue square), 実績 (orange diamond)

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Legend: 目標 (blue square), 実績 (orange diamond)

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
半世紀を超える中心市街地の夏の風物詩であるが、往時と比べ規模は縮小したが、一定の集客を維持している。来街者の増加を図るため、顧客ニーズに合ったイベントの実施、担い手の確保等を図っていく必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	バルーンフェスタ・サテライト事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀国際バルーンフェスタのサテライト会場を中心市街地に設置し、骨董市等の集客イベントの開催、シャトルバスの運行（バルーン会場と東よか干潟）、街なかでの販促活動や装飾等に要する経費の一部を助成することで、中心市街地への来街を促進するとともに、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	中心市街地内の事業者・事業者、バルーンフェスタ来場者（補助対象はバルーンフェスタ・サテライト実行委員会）				
R2年度 主な活動実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、バルーンフェスタが中止となり、サテライトイベントも併せて中止となったため、事業執行なし。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
イベント来場者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
-	50,000	50,000	50,000	55,000	

年度	目標	実績
R2	-	-
R3	50,000	50,000
R4	50,000	50,000
R5	50,000	50,000
R6	55,000	55,000

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

年度	目標	実績
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
シャトルバスや駐車場の案内での中心市街地への誘客を引き続き行うことによって、中心市街地への来街を促進するとともに、中心市街地内において魅力的で回遊性を高めるようなイベント等をさらに充実させることによって、賑わいを創出する必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀城下ひなまつり関連商店街活性化事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀城下ひなまつりの開催予定期間に合わせて、中心市街地において、ひな飾り等の設置や街なかコンサート等の集客イベントの開催に要する経費の一部を助成し、中心市街地のイメージアップを図り、賑わいを創出するとともに、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	佐賀城下ひなまつり開催期間に中心市街地を訪れた市民・中心市街地の商業者及び事業者				
R2年度 主な活動実績	佐賀城下ひなまつり街なか賑わいづくり実行委員会に補助金を交付し、補助対象者が行うイベント等の進捗管理を行った。 ・開催期間 令和3年2月11日（木・祝）～3月21日（日）【39日間】 ・開催場所 中心市街地（656広場、エスプラッツ等）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,210				
うち佐賀市の負担額	5,210				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
イベント来場者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
44,398	45,000	50,000	55,000	60,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
事業費の削減 = 活動量の減少とならないよう、イベント開催者と協議を行いながら、効果的な集客方法を検討する。また、イベントへの自主参加を呼びかけ、事業費を維持したままで、活動量を増やしていきたい。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	タウンマネジメント事業推進支援事業	事業期間	平成 16 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	NPO法人まちづくり機構ユマニテさが行う中心市街地の活性化を図るための機関運営及び各種事業を支援する。				
事業の対象者	市民・来街者等				
R2年度 主な活動実績	NPO法人まちづくり機構ユマニテさがへの補助を行い、当該団体の機関運営及び中心市街地活性化事業を支援した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	18,000				
うち佐賀市の負担額	18,000				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5	31.5	33.5	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
NPO法人まちづくり機構ユマニテさが中心市街地活性化法に規定する「中心市街地整備推進機構」として指定する唯一の団体であるため、引き続き連携しながら、中心市街地の活性化に取り組んでいく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

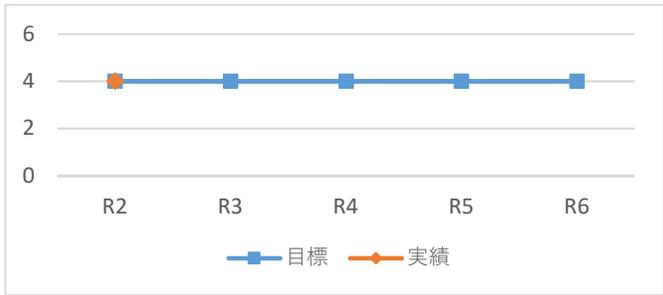
事務事業名	戦略的商機能等集積支援事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	魅力ある店舗・施設の整備と立地促進	

1 事務事業の基本情報

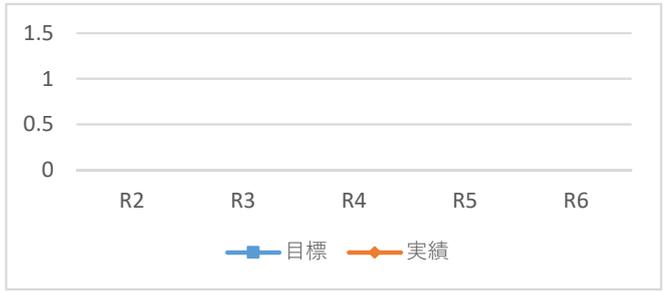
事業概要・目的	中心市街地を活気に満ちた魅力ある空間にするため、戦略的に商機能の集積を図るとともに、出店意欲旺盛な事業者の新規参入を促進する事業に係る経費の一部を助成する。				
事業の対象者	中心市街地における新規出店事業者				
R2年度 主な活動実績	本事業を実施するNPO法人まちづくり機構ユマニテさがに対し、補助を行った。(新規出店者数：4人)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,476				
うち佐賀市の負担額	2,838				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
新規出店者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4	4	4	4	4		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
活用可能な空き物件の掘り起こし、入店希望者の把握に努め、4核構想エリア及び中央大通りエリアにおいて、重点的に商機能の集積を図っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中心市街地活性化まち・ひと・しごと創生事業	事業期間	平成 27 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	魅力ある店舗・施設の整備と立地促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地の活性化を図るため、都市圏からのU I J ターン希望者等の働く場の創出を目的とした施設の整備費を補助する。				
事業の対象者	事業者等				
R2年度 主な活動実績	・補助対象者の選定に係る審査を実施（審査実績：1件） ※補助対象者による施設整備が、新型コロナウイルス感染症によるサプライチェーンのき損の影響で完成が遅れたため、令和3年度に繰り越した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	年度	年度	年度
事業総額	36				
うち佐賀市の負担額	36				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
新規開業者数					人
R2 実績	R3 目標	目標	目標	目標	
0	1	実績	実績	実績	
成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	
	実績	実績	実績	実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
本事業は令和3年度（令和2年度からの繰越分）で終了することとし、今後は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機とした地方回帰への流れを踏まえ、テレワーク拠点施設やサテライトオフィス等の「新たな日常」や「多様な働き方」に対応した働く場の整備に対して新たに支援策を講じることとしている。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか産学官連携支援事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	まちづくり団体との連携の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀大学まちづくりサテライト「ゆつら〜と館」の運営に要する経費の一部を助成し、セミナーやイベント等の開催による中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	来街者等				
R2年度 主な活動実績	佐賀大学まちづくりサテライト「ゆつら〜と館」の運営に要する経費の一部を助成し、セミナーやイベント等の開催により中心市街地の活性化を図った。 ・セミナー等開催回数 105回 ・セミナー等参加者数 554人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,000				
うち佐賀市の負担額	2,700				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
「ゆつら〜と館」利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
554	600	1,000	1,500	2,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
大学との連携を深め、より効果的な企画を実施し、中心市街地での活動を発展させるように働きかけていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	流通促進事業	事業期間	平成 20 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 流通促進係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	新たな市場開拓の支援と販路拡大の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	地場産品の販路開拓を図るため、国内外の流通関係者と市内事業者の商談機会を創出するとともに、百貨店催事への出店、佐賀市物産販売協力店を活用したイベント等を実施することで、地場産品の販売を促進する。				
事業の対象者	市内事業者				
R2年度 主な活動実績	流通関係者との商談会の開催及び百貨店催事等への出店を実施し、地場産品の販売を促進した。 ・流通関係者との商談等（招へい企業数 延べ6社、訪問企業数 延べ75社） ・飲食店×地場企業×農漁業者マッチング商談会の開催（参加事業者数17社、参加バイヤー数50人） ・百貨店催事等の実施（実施件数16件） ※新型コロナウイルス感染症拡大により通販サイトの需要が高まり、商談成立件数が大きく伸びた。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	26,232				
うち佐賀市の負担額	26,232				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
商談成立件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
68	35	35	35	35		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
地場産品の効果的な広報を行い、商談の機会を増やし、地場産品の販路の開拓、拡大を図る。R3年度以降は通販サイトでの大幅な商品採用増が見込めず、新型コロナウイルス感染症の影響により商談等の機会が減少することが考えられるため、商談成立件数はR2年度から減少する見込みとなるが、オンライン会議等新たな手法を取り入れながら引き続き商談機会等の創出に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	物産販売協力店拡大事業	事業期間	平成 27 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 流通促進係	担当課長名	樺木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	O2活力ある商工業の振興		
	基本事業	新たな市場開拓の支援と販路拡大の促進		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	地場産品のブランド化と販路拡大の効果的な推進を目的に、都市圏の自社店舗にて地場産品（加工食品、酒類等）の店頭販売や、農水産品の飲食メニューへの採用などに積極的に取り組んでいただく物産販売協力店の拡充を図る。				
事業の対象者	全国の小売業、飲食店				
R2年度 主な活動実績	都市圏の自社店舗にて地場産品の店頭販売や、農水産品の飲食メニューへの採用などに積極的に取り組んでいただく物産販売協力店の拡充を図った。 ・新規設置に向け商品提案等を行った店舗数 20店舗 ・試験販売を実施した店舗数 2店舗 ・新規物産販売協力店認定店舗数 4店舗				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,499				
うち佐賀市の負担額	2,499				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
新規物産販売協力店認定店舗数						店舗
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4	1	1	1	1		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う移動の制限等により、対象となる店舗の調査等に支障を来していることから、新規認定店舗数はR2年度から減少する見込みとなるが、引き続き都市圏において佐賀産品のニーズ調査を行うとともに、店舗の事業規模や特色を踏まえた商品提案を行うことにより新規認定に向けた機会を創出できるよう努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ふるさと名物応援強化事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 流通促進係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	新たな市場開拓の支援と販路拡大の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	地場産品の知名度向上・イメージアップを図り、需要を喚起するため、メディアに対する情報提供や地場産品の魅力を直接的に消費者等へPRする物産展等を実施することで、地場産品の販路拡大を創出する。				
事業の対象者	市内事業者（食品・工芸品）				
R2年度 主な活動実績	メディアに対する情報提供や地場産品の魅力を直接的に消費者等へPRする物産展等を実施することで、地場産品の販路拡大を創出した。 ・物産展等の実施件数 11件 ・メディアへの情報提供数 21件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,100				
うち佐賀市の負担額	7,100				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
物産展等の実施件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
11	11	11	11	11		

成果指標②						単位
メディアへの情報提供数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
21	30	30	30	30		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各種イベント等の中止や規模縮小がなされていることから、物産展等の実施件数の増加が見込めない状況だが、イベント等の情報収集を行い、出展機会の創出に努める。また、日頃から市内事業者とコミュニケーションを綿密に取ることで、新商品等の情報を迅速に入手し、メディアへの情報提供やSNS等の多様な媒体を用いた情報発信に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

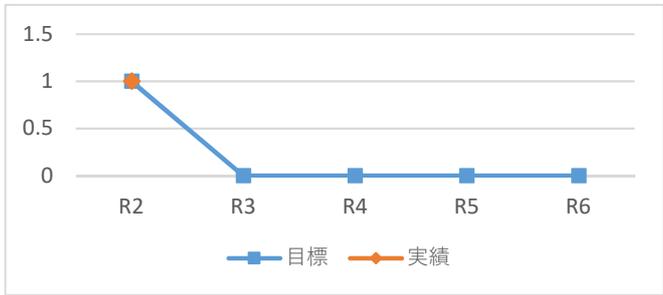
事務事業名	バスセンター管理事業	事業期間	昭和 51 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

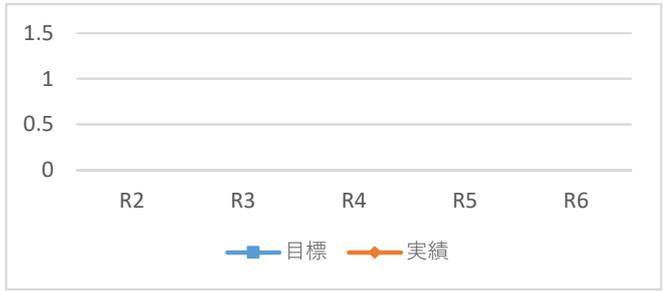
事業概要・目的	日々、多くの利用者がある佐賀駅バスセンターの利便性及び快適性を確保するため、適切な管理を行う。				
事業の対象者	バスセンター利用者				
R2年度 主な活動実績	佐賀駅バスセンターの利便性及び快適性を確保するため、適切な管理を行った。 ・佐賀駅バスセンターの借地料 13,680,000円 ・佐賀駅バスセンター設備補修費等 2,682,940円 ・夜間警備等に要した経費 3,889,050円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	20,502				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者の満足度（提言中苦情件数）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	0	0	0	0		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
管理・運営を行っている県バスターシー協会と連携して、社会情勢の変化に対応し、利便性及び快適性の確保に努める。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	プレミアム付商品券発行事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民の域内消費を喚起し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の回復・立て直しを図ることを目的に、プレミアム付商品券（第1弾）「さかエール商品券」を発行した。 ・プレミアム率 25% ・発行総額 2億円（5,000円/冊×40,000冊） ・利用期間 令和2年6月13日（土）～令和2年9月30日（水） ・参加店舗数 660店舗（飲食311、小売340、飲食・小売9）				
事業の対象者	佐賀市民				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	67,700				
うち佐賀市の負担額	15,700				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
発行総額					千円
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
200,000					

活動実績②					単位
参加店舗数					店舗
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
660					

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症対応地域経済活性化事業として、プレミアム付商品券第1弾「さかエール商品券」を発行し、市民の消費喚起効果を促した。 本商品券の利用者アンケートの結果、「消費喚起効果」1.51億円（378%）、「消費効果」2.54億円（635%）と算出している

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	新たなまちづくりチャレンジ支援事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中小・小規模事業者、商店街組織等が地域における持続的な賑わい創出を図るために感染防止策を行いながら取り組む「新たなまちづくり」であって、かつ佐賀県が実施する「新たなまちづくりチャレンジ支援事業」の採択を受けた事業を対象に支援を行うことによって、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域商業の早期回復を後押しした。				
事業の対象者	市内に事業所のある5事業者以上の中小・小規模事業者又は商店街組織等				
根拠法令等	佐賀市補助金交付規則、佐賀市新たなまちづくりチャレンジ支援事業費補助金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	3,156				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
補助金申請件数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
13					

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

中小・小規模事業者、商店街組織等が地域における持続的な賑わい創出を図るために感染防止策を行いながら取り組む「新たなまちづくり」であって、かつ佐賀県が実施する「新たなまちづくりチャレンジ支援事業」の採択を受けた事業を対象に支援を行うことによって、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域商業の早期回復を後押しした。今回の事業によって得たノウハウをもとに、事業終了後も継続して、地域商業の賑わい創出に寄与していくことを期待したい。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	プレミアム付商品券発行支援事業	事業期間	令和 2 ～ 令和 2 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民の域内消費を喚起し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の回復・立て直しを図ることを目的に、商工会議所及び市内商工会が実行委員会を組織してプレミアム付商品券（第2弾）「さがきゃあもん商品券」の発行する事業に対し、経費の支援を行った。 ・プレミアム率 飲食券30%、共通券20% ・発行総額 5.5億円 飲食券（6,500円/冊×20,000冊） 共通券（6,000円/冊×70,000冊） ・利用期間 令和2年11月14日（土）～令和3年2月28日（日） ・参加店舗数 900店舗（飲食409、その他491）				
事業の対象者	佐賀市プレミアム付商品券発行事業実行委員会（佐賀商工会議所、佐賀市北商工会、佐賀市南商工会）				
根拠法令等	佐賀市補助金交付規則、佐賀市プレミアム付商品券発行事業費補助金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	136,000				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
発行総額					千円
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
550,000					

活動実績②					単位
参加店舗数					店舗
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
900					

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症対応地域経済活性化事業として、プレミアム付商品券第2弾「さがきゃあもん商品券」を発行し、市民の消費喚起効果を促した。
本商品券の利用者アンケートの結果、「消費喚起効果」3.28億円（328%）、「消費効果」6.60億円（661%）と算出している

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	地場産品マッチングサイト構築支援事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	商業振興課 流通促進係	担当課長名	縦木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	新たな市場開拓の支援と販路拡大の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症の影響により、地場産品とバイヤーが繋がる機会が大幅に減少しているため、佐賀市観光協会が実施する地場産品とバイヤーをマッチングして商談を可能にするウェブサイト「よかもんさがし」の構築を支援する。				
事業の対象者	一般社団法人佐賀市観光協会、市内事業者				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	5,000				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
掲載事業者数					社	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
22						
活動実績②					単位	
掲載商品数					点	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
101						

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

従来の商談方法の主流は展示会方式や個別対面式だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、直接対面しての商談を実施することが難しくなったため、インターネットによるオンライン商談などの新しい手法が活用されている。新型コロナウイルス感染症については、現状、完全な終息が見込めないことから、今後も引き続きインターネットによるオンライン商談などの活用が見込まれる。よって、市内地場産品の情報を集約し、インターネット上でバイヤーとの情報交換や商談を可能にするWEBサイト「よかもんさがし」は、地場産品の販路を開拓するうえで、有効なツールとなることが期待される。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中小企業振興資金貸付事業	事業期間	昭和 55 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内中小企業に対する資金供給を円滑にするため、市内金融機関に融資資金を預託し、また、融資を受ける中小企業の負担を軽減するため佐賀市中小企業振興資金の貸付に係る信用保証料を全額補給する。				
事業の対象者	市内で6ヶ月以上継続して同一の事業を営み、市税を完納している中小企業者等				
R2年度 主な活動実績	市内中小企業に対する資金供給を円滑にするため、市内金融機関に融資資金を預託した。 融資取扱金融機関 佐賀銀行・佐賀共栄銀行・佐賀信用金庫・西日本シティ銀行・十八親和銀行・ 商工組合中央金庫・佐賀東信用組合・福岡銀行・長崎銀行・横浜幸銀信用組合・ 大川信用金庫 令和2年度貸付状況 79件（332,335千円）、年度末残高 748件（1,835,853千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	670,000				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
融資貸付額					千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
323,335	1,407,000	1,407,000	1,407,000	1,407,000	

年度	目標	実績
R2	-	323,335
R3	1,407,000	-
R4	1,407,000	-
R5	1,407,000	-
R6	1,407,000	-

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する

成果目標達成に向けた対応策等
引き続き商工団体・金融機関と連携するとともに、市報・HP等を利用し広報活動を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	商工中金預託事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内中小企業団体及び組合員に対する資金供給を円滑にするため、商工組合中央金庫佐賀支店に預託する。 市内の中小企業団体及び組合員が、必要な時に資金調達ができるようになり、経営の安定化が図られ、健全な経営を行うことができる。				
事業の対象者	中小企業団体及びその組合員				
R2年度 主な活動実績	市内中小企業団体及び組合員に対する資金供給を円滑にするため、商工組合中央金庫佐賀支店に預託した。 ・預託金額 200,000千円 ・令和2年度貸付状況 201件（44,502,000千円）、年度末残高 155件（15,521,000千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	200,000				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
融資貸付額					百万円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
44,502	36,000	36,000	36,000	36,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き商工団体・商工中金と連携するとともに、市報・HP等を利用し広報活動を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

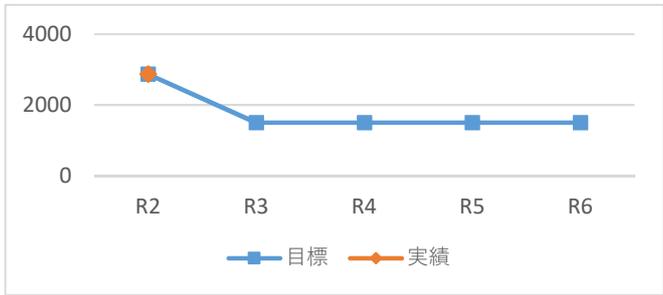
事務事業名	同和金融対策事業	事業期間	昭和 46 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

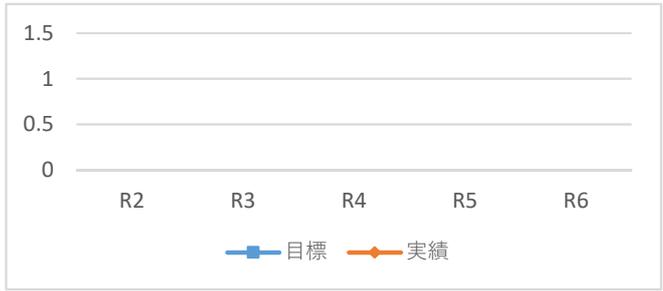
事業概要・目的	同和地区中小企業振興資金を貸付けた中小企業者等からの償還金を受入れ、同額を市の債権者である県へ償還する。その償還の円滑化を図るため、関係団体の協力を得て債務者の事業等の実態を把握し、今後の債務管理について対応を検討するとともに、償還に関する指導を行う。				
事業の対象者	同和地区中小企業振興資金の借入企業				
R2年度 主な活動実績	対象となる中小企業者等からの償還金を受入れ、同額を県へ償還した。併せて債務者の事業等の実態を把握し、今後の債務管理について対応を検討するとともに、償還に関する指導を行った。 ・対象者から償還金を受け、同額を県に償還 2,866千円 ・対象者のヒアリング等を実施 年2回 ・償還指導等を行った関係団体へ補助金・謝金の支給等 516千円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,382				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
償還金額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,866	1,500	1,500	1,500	1,500		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き県と連携し、債務者と定期的なヒアリングを実施して状況の把握に努め、債権回収等を進める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ライトファンタジー事業	事業期間	平成 1 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	SAGA国際バルーンフェスタの前夜祭及び、中心市街地の活性化に寄与することを目的としたサガ・ライトファンタジー事業に対し支援する。				
事業の対象者	来街者等				
R2年度 主な活動実績	シンボルロード約1.2kmを中心にスポット電飾、街路樹電飾、沿線店舗による自主電飾、市民による電飾等の取組及び街なかの回遊性を高めるイベントの実施に対して支援を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で2020佐賀国際バルーンフェスタが中止になったため、前夜祭のオープニングパレード（パレード、ストリートパーティー等）は中止され、点灯式（無観客）のみWEB配信された。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	30,000				
うち佐賀市の負担額	30,000				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
来街者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
29,752	30,000	35,000	35,000	40,000	

年度	目標	実績
R2	-	29,752
R3	30,000	-
R4	35,000	-
R5	35,000	-
R6	40,000	-

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
引き続きサガ・ライトファンタジー実行委員会と連携し、担い手を増やすとともに魅力ある装飾を施す。また、集客力のあるイベントを企画し、中心市街地の活性化に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	まちづくり支援事業	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地で行われる様々なイベントに対し、支援・広報・助言することにより、中心市街地の活性化を図る。また、大学・高等学校・地元小学校・専門学校等とも連携し、イベントの誘致などを行い地域との連携を図る。				
事業の対象者	市民				
R2年度 主な活動実績	中心市街地で行われる様々なイベントに対し、広報等で支援することにより、中心市街地の活性化を図った。 ・広報番組佐賀シテビジョン『街なか通信』を毎月2回放送し、各回1~2団体を紹介				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,481				
うち佐賀市の負担額	2,481				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント等支援件数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
31	35	40	45	50		

年度	目標	実績
R2	35	31
R3	40	
R4	45	
R5	50	
R6	55	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する

成果目標達成に向けた対応策等
引き続きNPO法人まちづくり機構ユマニテさがと連携し、中心市街地各地でまちづくりを行う者を支援し、地域活性化を図る。また、市内の各商店街を支援し市全体としての活性化に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

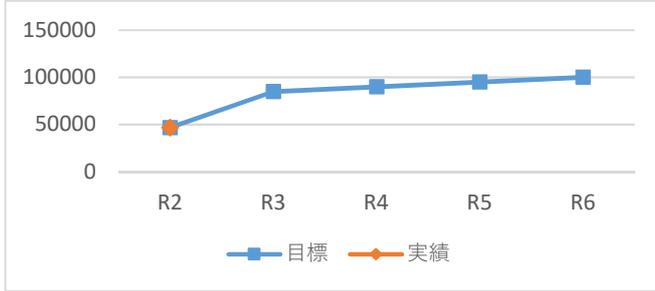
事務事業名	中心市街地通行量調査経費	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	賑わい創出の支援		

1 事務事業の基本情報

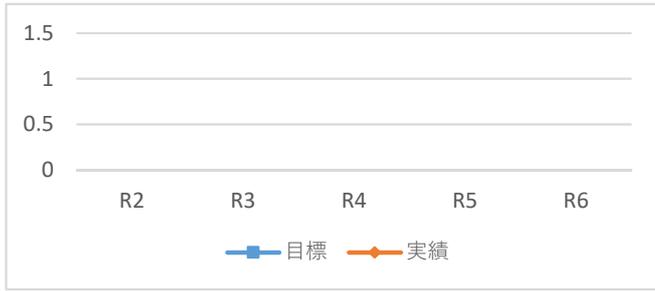
事業概要・目的	中心市街地活性化事業の効果測定のために、中心市街地及び佐賀駅バスセンターにおいて通行量調査を行う。				
事業の対象者	中心市街地を利用する市民等				
R2年度 主な活動実績	中心市街地における歩行者等の通行量調査を実施した。 ・調査日 8月及び12月の4日間 ・調査箇所 8月：中心市街地の14箇所 12月：中心市街地の17箇所				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,126				
うち佐賀市の負担額	1,126				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
主要商店街通行量（夏季調査）					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
46,780	85,000	90,000	95,000	100,000	



成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
中心市街地活性化事業の効果測定のための指標を調査する事業であるため、引き続き正確かつ効率的に実施していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか来訪者等動向調査経費	事業期間	令和 元 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樫木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	賑わい創出の支援		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	街なかの店舗情報等を掲載したWEBサイトを構築・運用し、当該サイト上で来街者向けのアンケート調査（WEBアンケート）を行うとともに、来街者の街なか回遊と消費行動を促進するための取組として、街なかクーポン事業を実施する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
R2年度 主な活動実績	街なかの店舗情報等を掲載したWEBサイトを構築・運用し、当該サイト上で来街者向けのアンケート調査を行うとともに、来街者の街なか回遊と消費行動を促進するための取組として、街なかクーポン事業を実施した。 ・WEBサイトの構築、運用（閲覧者数：9,313人、掲載店舗数：47店舗） ・来街者向けWEBアンケート調査の実施（アンケート回答者数：1,204人） ・街なかクーポン事業の運用（クーポン利用者数：918人）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,440				
うち佐賀市の負担額	1,850				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
WEBサイト閲覧者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
9,313	11,500	13,000	14,000	15,000	

成果指標②					単位
主要商店街通行量（夏季調査）					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
46,780	85,000	90,000	95,000	100,000	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
画一的なアンケート調査（情報収集）や店舗情報の発信に留まらず、来街者の興味関心を高めることができるような機能（街なか情報の発信・収集・交換の場）を充実させるとともに、街なかの店舗が来街者ニーズに適応できる機会を創出することにより、街なかの魅力を引き上げ、街なかへの来街と回遊・消費行動を一層促進していく。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	関係人口創出チャレンジ事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	縦木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	アニメ・ゲーム等の熱心なファンを有するコンテンツを活用して、佐賀と多様に関わる人々（関係人口）を創出するため、事業を展開する佐賀県関係人口創出チャレンジ事業協議会に対し、事業費の一部を負担する。				
事業の対象者	佐賀県関係人口創出チャレンジ事業協議会				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	5,000				
うち佐賀市の負担額	5,000				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
ゲーム内コラボイベント参加者数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
254,153						
活動実績②					単位	
デジタルスタンプラリー参加者数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
2,594						

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

佐賀県関係人口創出チャレンジ事業協議会において、全国に多くの熱心なファンを有するゲーム「ロマンシング サガ」と佐賀のコラボレーションを図り、ゲーム内でのコラボレーションイベントや、当該ゲームソフト制作会社から市に寄贈された、ゲームキャラクターのデザインマンホールを巡るデジタルスタンプラリー等を実施した。知名度の高いゲームと組むことによって、佐賀の知名度を向上させるとともに、関係人口の創出に寄与できたものと推測される。また、デザインマンホールは事業終了後も引き続き中心市街地に設置されているため、今後も関係人口の創出及び中心市街地の活性化に向けた資源として活用していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	未来技術を活用した街なかブランディング事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	来街者のニーズに適応し、多様な人の流れ（回遊・消費行動）を創出する「スマート街なか」の実現に向けて、国内外におけるスマートシティの潮流を意識しながら、中心市街地において未来技術を活用した各種プログラムを実施する。				
事業の対象者	市民				
R2年度 主な活動実績	中心市街地において未来技術を活用した各種プログラムを実施するための計画として、街なか未来技術活用モデルプラン（佐賀駅バスセンターサイン再編計画を含む。）を策定。 （先行事例調査、未来技術の導入可能性調査、サイン再編に向けた基礎調査、有識者会議の開催） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、先行事例調査が予定どおり実施できず、年度内に事業完了が困難となったことから、事業費の執行は、全額翌年度に繰り越すこととした。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5	31.5	33.5	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
未来技術を活用した取組は、街なかへの多様な人の流れを創出する上で、実情に応じた最適解を提供できる有効な手段となり得るため、来街者のニーズに適応する方策を新たな角度から見出すとともに、取得し蓄積したデータや、対応策等を中心市街地の事業者等に還元し、経営に活用してもらうことによって、中心市街地全体としての効果的な需要の取込みを図る。

令和3年度 公共事業進捗報告シート

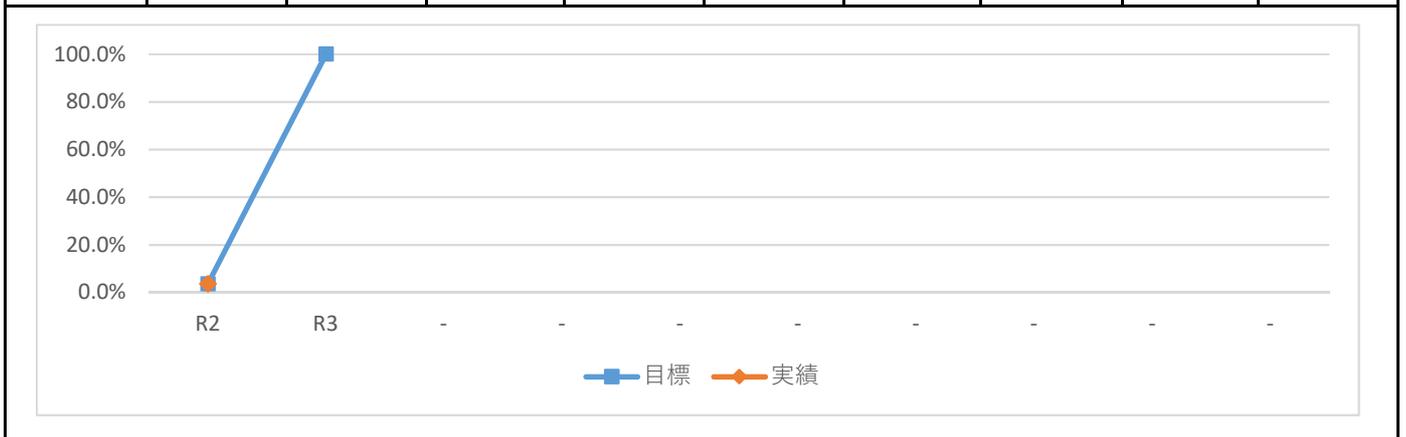
公共事業名	旧TOJIN茶屋解体事業		事業期間	令和2～令和3年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係		担当課長名	樫木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 公共事業の基本情報

整備概要	旧TOJIN茶屋は、震度6以上の地震発生時に倒壊又は崩壊する危険性が高いことから、令和2年度に解体等経費の調査、令和3年度に解体等事業に着手する。				
整備の目的	震度6以上の地震発生時に倒壊又は崩壊する危険性が高いことから、利用者の安全確保及び建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成7年法律第123号）の趣旨を勘案し、解体することとなった。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	年度	年度	年度
工事請負費	928				
測量・監理等委託料	729				
用地購入費					
補償費					
その他事務費等	180				
計	1,837				
うち佐賀市の負担	124				
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					928
測量・監理等委託料					729
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					180
計					1,837
うち佐賀市の負担					124

2 事業の進捗率

R2	目標 実績	R3	目標 実績							
	3.6% 3.0%	100.0%								



令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか交流広場管理事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人々に憩いと交流の場を提供することにより、街なかの賑わいを創出するとともに、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	来街者等				
R2年度 主な活動実績	街なか交流広場の適正な管理を行うとともに、人々に憩いと交流の場を提供することにより、中心市街地の活性化を図った。 ・利用者数：12,797人（前年度 31,904人） ・催事数：219回（前年度 284回）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,768				
うち佐賀市の負担額	3,768				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
街なか交流広場利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
12,797	13,000	25,000	30,000	35,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大幅に減少した。今後は、指定管理者と連携し、利用者の増加に向けて、利用者の意見の反映や設備の改修を行いながら利便性の向上に向けて取り組んでいく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか再生計画推進事業	事業期間	平成 23 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	平成22年度に策定した佐賀市街なか再生計画に基づき、エスプラッツ、佐賀玉屋、佐嘉神社・徴古館、呉服元町・柳町の4核を中心とした街なかを人々が回遊できる方策等を検証し確立する。具体的には、街なかの空き地へのコンテナの設置、遊休不動産の利活用の推進等を図ることによって、来街を促進するとともに、街なかの回遊性を向上させ、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	中心市街地の商業者、中心市街地を訪れる市民				
R2年度 主な活動実績	街なかを人々が回遊できる方策として、わいわい！！コンテナ2管理事業、新馬場通り活性化事業、遊休不動産活用促進事業を実施し、まちゼミの開催に係る経費の一部を助成した。 ・わいわい！！コンテナ2の来館者数 39,001人（前年度56,090人） ・空き店舗・空き家活用セミナーの参加者数 35人、遊休不動産活用促進利子助成件数 7件 ・第6回まちゼミへの参加者数 307人（前年度377人）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	21,587				
うち佐賀市の負担額	19,137				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5	31.5	33.5	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、中止や縮小を余儀なくされたイベント等もあったが、感染症対策を講じながら、可能な範囲で事業展開を図ることができた。今後も感染症対策を講じながら、来街者の回遊性の向上や中心市街地の賑わい創出に寄与するような仕掛けづくりを行っていきとともに、段階的に民間事業者に移行させていく仕組みを検討していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中央大通り再生計画推進事業	事業期間	平成 27 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市中央大通り再生計画（平成26年度策定）の実践プログラムに基づき、各種方策を検討・実施することにより、佐賀市のシンボルロードである中央大通りの再生を図る。				
事業の対象者	市民				
R2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 中央大通り沿線の将来像、土地利用方針、民間投資喚起策等の検討・構築（沿線の土地・建物の状況調査、市民アンケート調査、中央大通り再生会議の開催：2回） 中央大通りに関して不特定多数の者を対象とする民間主体のイベント等の開催支援（開催イベント数：5件、イベント参加者数：426人） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,391				
うち佐賀市の負担額	1,396				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5	31.5	33.5	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
沿道建築物の解体等（新陳代謝）が本格化する中央大通り沿線の将来イメージを明確に発信するとともに、誘導策（支援制度等）を創設することにより、中央大通りをターゲットとした民間投資（来街目的となる都市機能の立地）を呼び込み、中心市街地全体への波及効果を創出する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なかふれあいプラザ管理運営事業	事業期間	平成 19 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	「街づくり基点施設」であるエスプラッツの街なかふれあいプラザ（1、2階）について、指定管理者を選定し、施設管理、テナント誘致及び集客力向上に取り組むとともに、老朽化した館内設備を改修し、施設の利便性を向上させることによって、中心市街地居住者及びオフィスワーカー等の利便性の向上や、新たな来街者の創出を図り、中心市街地の活性化に資する。				
事業の対象者	市民、中心市街地の来訪者				
R2年度 主な活動実績	佐賀市街なかふれあいプラザの管理運営を行うとともに、指定管理者と共に様々なイベントに取り組み、エスプラッツの賑わい創出を行った。 ・令和2年度街なかふれあいプラザ入場者数：866,179人（対前年度比18.6%減） ・指定管理者：(株)ミズ				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	57,237				
うち佐賀市の負担額	57,237				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
街なかふれあいプラザの1日平均利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
2,464	3,150	3,250	3,350	3,450	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大幅に減少した。今後は、利用者数の増加に向けて、指定管理者と連携しながら、管理運営への利用者の意見の反映、館内設備の計画的な改修による利便性の向上、中心市街地で行われる他の取組と連携した事業展開を図っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	文化交流プラザ管理運営事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	「街づくり基点施設」であるエスプラッツの文化交流プラザ（3階）について、指定管理者を選定し、施設管理及び集客力向上に取り組むとともに、耐用年数を経過した機器等について計画的に更新を行うことで、中心市街地居住者等の利便性の向上や、新たな来街者の創出を図り、中心市街地の活性化に資する。				
事業の対象者	市民、中心市街地の来訪者				
R2年度 主な活動実績	佐賀市文化交流プラザの管理運営を行うとともに、指定管理者と共に様々なイベントに取り組み、エスプラッツの賑わい創出を行った。また、利用者の安全性と快適性の確保のため、老朽化した機器の更新等を行った。 ・令和2年度交流センター入場者数：20,198人（対前年度比53.9%減） ・指定管理者：(株)佐賀新聞文化センター ・機器更新等：グランドピアノオーバーホール、ホール照明取替、ホワイエチェアカバー張替等				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	74,399				
うち佐賀市の負担額	60,695				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
文化交流プラザの1日平均利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
60	140	160	180	200		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大幅に減少した。今後は、利用者数の増加に向けて、指定管理者と連携しながら、管理運営への利用者の意見の反映、機器等の計画的な改修による利便性の向上、中心市街地で行われる他の取組と連携した事業展開を図っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀商工ビル転貸フロア等管理運営事業	事業期間	平成 25 ~ 令和 10 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀商工ビルの一部フロアを市が事業者からリースして、旧商工会館のテナントや公共公益的団体等への転貸し、施設の管理運営を行うことによって、勤務者や利用者等が中心市街地を日常的に訪れ、賑わう状況を創出する。				
事業の対象者	佐賀商工ビル入居者及び関連団体				
R2年度 主な活動実績	中心市街地の活性化を図るため、佐賀商工ビルにおいて、市がリースする転貸フロアの管理運営を行った。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により移動等に制約が生じる中、市内事業者の円滑な経済活動を支援するため、佐賀商工ビル7階大会議室にオンライン会議等に対応できる設備を導入した。 ・転貸フロアの入居者数：22団体 ・転貸フロアの占有面積：692坪				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	106,650				
うち佐賀市の負担額	37,287				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
来館者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
372,191	430,400	438,600	446,800	455,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載する



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者数が大幅に減少した。今後、より多くの市民の来訪及び入居テナント数の維持のため、施設利用者や入居団体から意見聴取等を行い、管理組合と連携して施設の利便性・快適性の向上に努める。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	事業継続支援事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、売上が大きく減少した市内事業者の事業継続を支援するため、市独自の支援金を支給する。</p> <p>【事業継続支援金】令和2年1月～7月までのいずれか1か月の売上が、前年同月比で20%以上減少した等の要件を満たす事業者に対し、法人20万円、個人10万円（対象月の売上が50%以上減少し、かつ、一定の要件を満たす場合は、法人40万円、個人20万円に上乗せ）を支給する。</p> <p>【第2次事業継続支援金】令和2年12月～令和3年2月までのいずれか1か月の売上が、前年同月比で20%以上減少した等の要件を満たす事業者に対し、法人10万円、個人8万円を支給する。</p>				
事業の対象者	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、売上が大きく減少した市内事業者				
根拠法令等	佐賀市事業継続支援金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	1,495,879				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
支給事業者数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
6,714					

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発令等を受け、経済活動が大きく制限されることによって、事業者の事業継続が困難になることが予想されたため、佐賀市独自の「事業継続支援金」（受付期間：令和2年5月1日～8月28日）を他に先駆けて創設。様々な広報媒体を活用し繰り返し広報を行ったことで、予算措置時点の支給見込6,781件に対し、支給実績は6,311件（93%）となった。

また、県による飲食店への営業時間短縮要請等を受け、2回目となる「第2次事業継続支援金」の支給を開始。令和3年度に予算を一部繰り越して支給を継続している（受付期間：令和3年3月22日～6月30日）。[令和2年度支給実績：403件]